

公益社団法人全国スポーツ推進委員連合 スポーツ推進委員功労者表彰

小林市スポーツ推進委員協議会 会長
やまのうち しげふみ

山之内 茂文 さん (72歳)

運動教室の講師や各種スポーツ大会の運営・補助、学校や企業でのニュースポーツの普及などを通じて、子どもから高齢者まで誰もが楽しみながら汗を流せる「生涯スポーツ」を推進するスポーツ推進委員。

24年間にわたり小林市スポーツ推進委員として活動する、小林市スポーツ推進委員協議会の山之内茂文会長に話を聞いた。



スポーツには、人や社会を元気にする力がある

「みんながワイワイとスポーツに親しめる機会を作るのが私たちの仕事」。

そう話すのは、小林市スポーツ推進委員協議会会長の山之内茂文さんだ。

山之内さんは、平成12年にスポーツ推進委員の前身である体育指導員に就任。平成25年からは協議会会長を務めている。

市民向けの運動教室や障がいがある人向けのスポーツ教室の講師、各種スポーツ大会の運営・補助などに加え、年齢や体力に関わらず誰もが楽しめる「ニュースポーツ」の普及も行うスポーツ推進委員。

小・中学校の家庭教育学級や企業のレクリエーションなどで講師を務めるが、特に小学校低学年の児童が体を動かす様子を見るのが楽しいと話す。

「スポーツに触れたことがない子どもたちに、体を

動かして汗を流す爽快感や楽しさを知ってほしい」。

ニュースポーツは、児童同士だけでなく、一緒に参加する保護者同士の交流も図られると好評だ。

昨年11月には、公益社団法人全国スポーツ推進委員連合の功労者表彰を受賞した。長年の功績が認められたの受賞だが、他自治体の推進委員と比べて「まだまだ勉強しないといかんと感じた」という山之内さん。同時に、これまでの経験を次の世代に引き継ぎ、支えていきたいと話す。

「スポーツには、人や社会を元気にする力がある」。スポーツの力で「活力ある社会、絆ある社会になっ

てほしい」と山之内さん。「市民の皆さんの健康維持・増進のために、これからも活動していきたい」。そう意気込む山之内さんの活動は続く。

「前に突き進んできた」とこれまでの活動を振り返る山之内さん。功労者表彰受賞は、推進委員の先輩や同僚、関係者や家族のおかげと話す

自主研修等で指導方法などを学んでいるスポーツ推進委員。昨年8月には理学療法士を講師に、高齢者のフレイル予防に効果的な運動などを学んだ



小林人

こばやしびと
Vol.120